

# 2016年度第3四半期実績の概要

2017年1月27日

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

# 2016年度第3四半期業績(累計)の概要

- 親会社株主に帰属する四半期純利益の通期業績目標比の進捗率は78%
  - 目標比では、円安に加え、市場営業部門が引き続き堅調に推移
  - コストコントロールも着実に推進
- 2017年1月初に予定されていたバーゼルⅢ見直し最終化に係るGHOS\*1会合が延期。新規制下で当社のリスクアセットは20%台半ば程度以上増加する可能性があるとの見方は変わらず

## 主な財務指標

親会社株主に帰属する当期純利益		SMFG連結
5,447億円	通期業績目標比 78%	
	前年同期比 ▲816億円	
ROE*2		SMFG連結
9.5%	【中計財務目標】	
	10%程度	

連結粗利益、経費率		SMFG連結
連結粗利益 21,738億円	通期業績目標比 75%	
	前年同期比 ▲448億円	
経費率 61.9%	【中計財務目標】	
	50%台半ば	
与信関係費用		上段:SMFG連結 / 下段:SMBC単体
▲680億円	【2016年度目標】	
	▲1,800億円	
△24億円(戻り)	【2016年度目標】	
	▲500億円	

## 1株当たり情報(SMFG連結)

	16年度4-12月	前年同期比	16年度目標
親会社株主に帰属する当期純利益	398.38円	▲59.66円	511.99円
	16/12月末	16/3月末比	
純資産	6,756.00円	+236.40円	

## 格付

	Moody's	S&P	Fitch	R&I	JCR
SMFG	A1/P-1	A- / -	A/F1	A+ / -	AA- / -
SMBC	A1/P-1	A/A-1	A/F1	AA-/a-1+	AA/J-1+

# 2016年度第3四半期業績サマリー

## P/L

(億円)		P/L			16年度 目標
		16年度 中間期	16年度 4-12月	前年 同期比	
SMFG 連結	連結粗利益	14,175	21,738	▲448	29,050
	連単差	5,034	9,000	▲1,676	12,650
	営業経費	▲8,820	▲13,452	▲595	
	持分法投資損益	127	188	+635	
	連結業務純益	5,481	8,473	▲408	
	与信関係費用	▲548	▲680	▲225	▲1,800
	株式等損益	174	418	▲105	
	その他	35	▲78	▲130	
	経常利益	5,143	8,133	▲868	9,600
	連単差	340	1,389	▲1,972	2,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,592	5,447	▲816	7,000	
連単差	▲389	14	▲1,660	1,000	
SMBC 単体	業務粗利益	9,140	12,737	+1,228	16,400
	経費*1	▲4,020	▲6,166	▲149	▲8,150
	業務純益*2	5,120	6,571	+1,079	8,250
	与信関係費用	80	24	▲308	▲500
	経常利益	4,803	6,744	+1,103	7,400
当期純利益	3,981	5,432	+844	6,000	

## SMBC以外の主要グループ会社の 連結当期純利益寄与(概数)

(億円)	16年度 4-12月	前年 同期比
SMBCコンシューマーファイナンス	460	+40
SMBC日興証券*3	250	▲110
三井住友ファイナンス&リース	240	+20
セディナ	220	+10
三井住友カード	110	▲30
SMBCフレンド証券	30	▲0
SMBC信託銀行	▲120	▲60

## 国内預貸金利回差(SMBC単体)

(%)	16年度 4-12月	4-6月	7-9月	10-12月
貸出金利回	1.06	1.13	1.05	1.01
預金等利回	0.01	0.01	0.01	0.01
預貸金利回差	1.05	1.12	1.04	1.00
(参考)政府等向け貸出金控除後				
貸出金利回	1.12	1.15	1.12	1.08
預貸金利回差	1.11	1.14	1.11	1.07

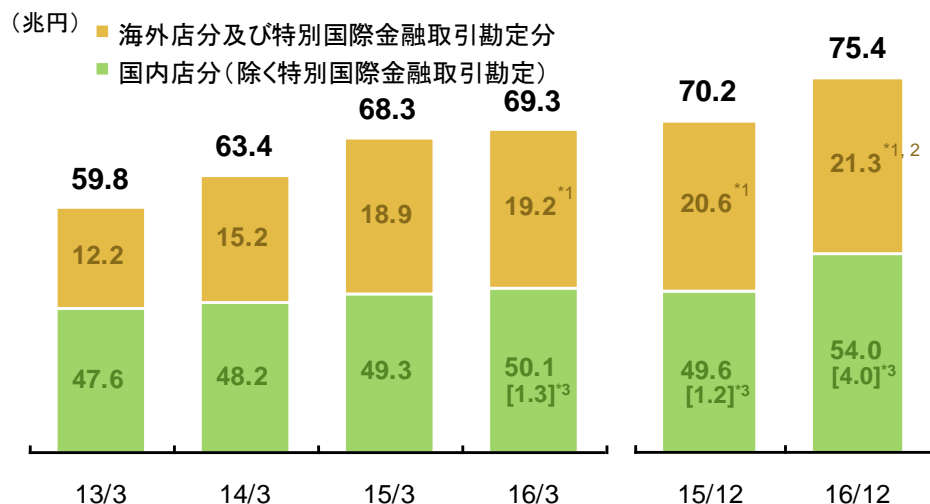
- バークレイズとの国内富裕層向け業務協働の変更
  - 2017年4月より、SMBCとSMBC日興証券が事業責任を負い、バークレイズからは商品・サービスの提供を受ける形へ(収益貢献は、事業損益の半分から、サービス費用控除後の全額へ)
  - 提携事業再編清算金112億円を、本第3四半期に、SMFG連結のその他損益\*3に計上
- 政策保有株式の削減実績(簿価)
  - 16年4-12月の売却実績 約750億円
  - 16/12月末 未売却の売却応諾残高 約1,100億円

\*1 臨時処理分を除く \*2 一般貸倒引当金繰入前

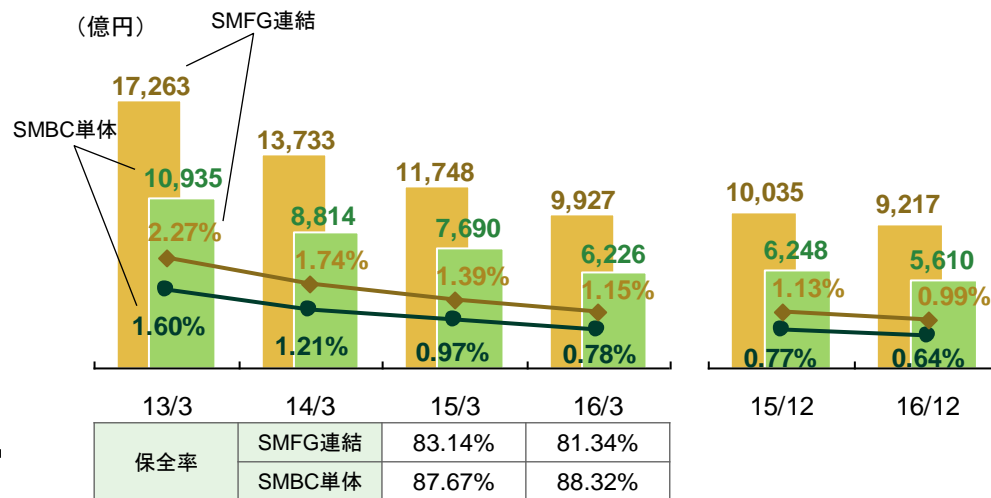
\*3 バークレイズとの提携事業再編清算金112億円を本第3四半期にSMBC日興証券の特別損失に計上

# 主要項目の時系列推移

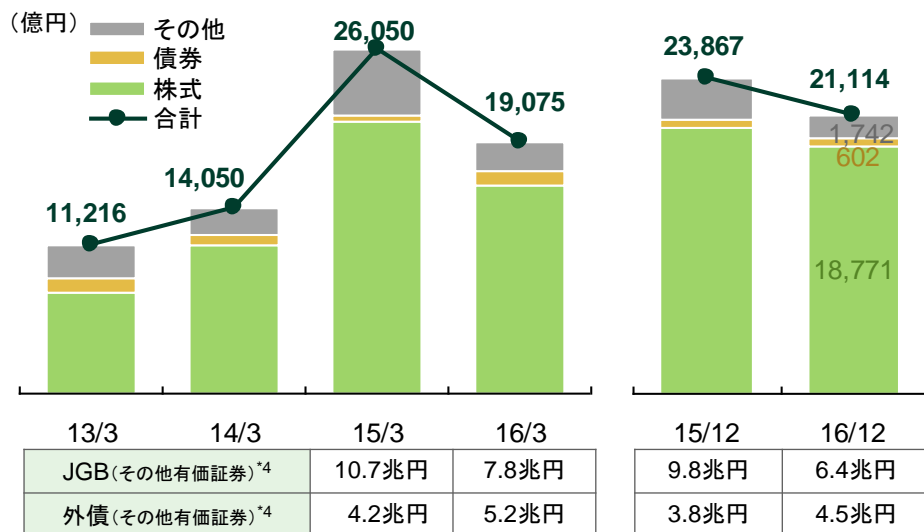
## 貸出金残高 (SMBC単体)



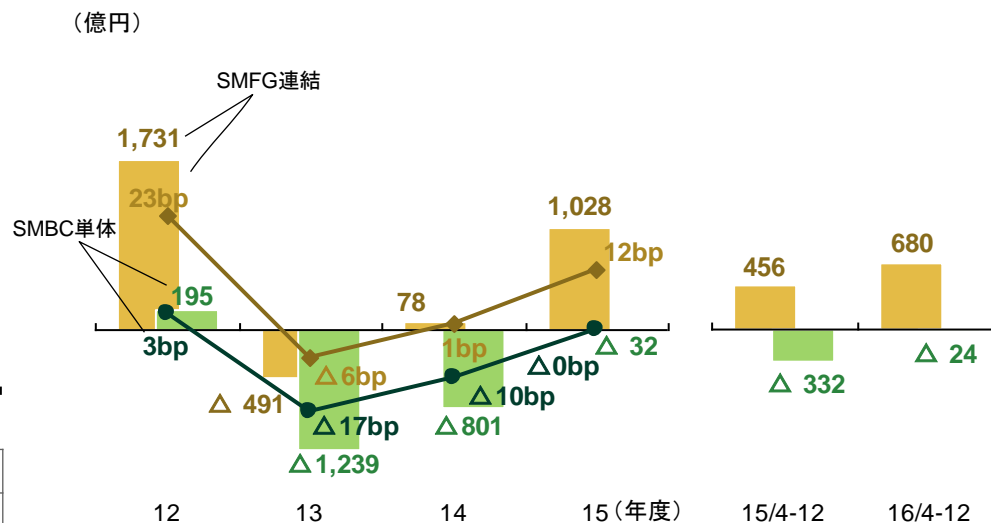
## 不良債権残高及び同比率<sup>\*5</sup>



## その他有価証券評価損益 (SMFG連結)



## 与信関係費用及び同比率<sup>\*6</sup>



\*1 各月末TTM 15/12月末:120.53円/ドル、16/3月末:112.62円/ドル、16/12月末:116.49円/ドル

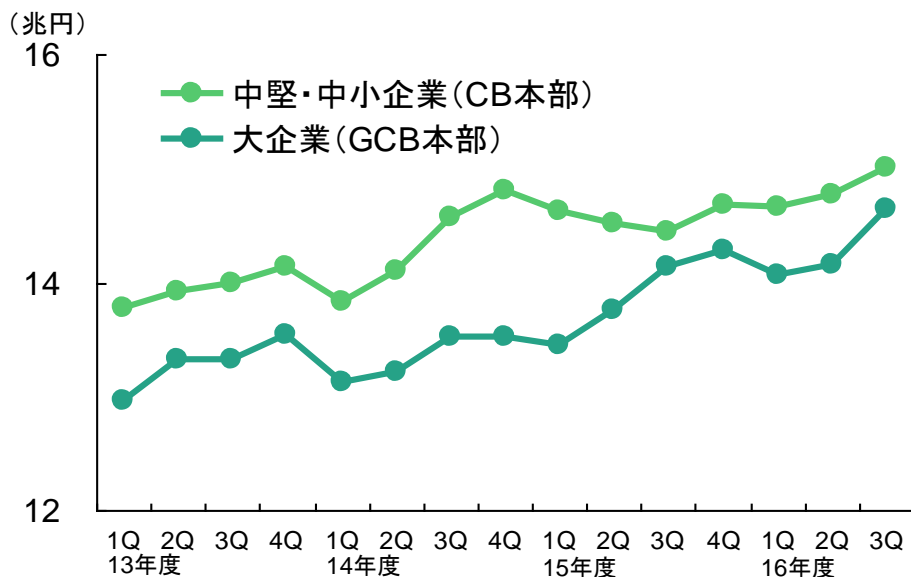
\*2 16/12月末より、カナダ支店(16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継)の残高を含む

\*3 うち政府等・SMFG向け \*4 SMBC単体、貸借対照表計上額

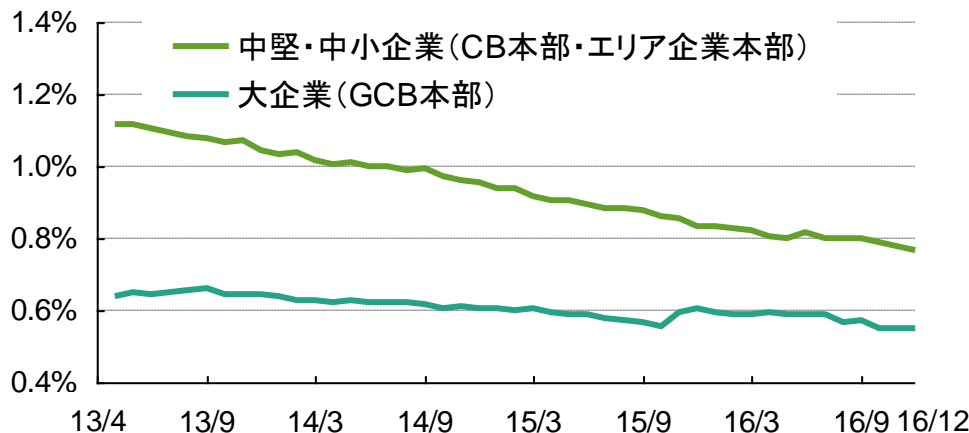
\*5 不良債権比率=金融再生法開示債権残高(除く正常債権)/総与信 \*6 与信関係費用比率=与信関係費用/総与信

# ホールセールビジネス

## ホールセール部門貸出金残高 (SMBC単体)\*1, 2

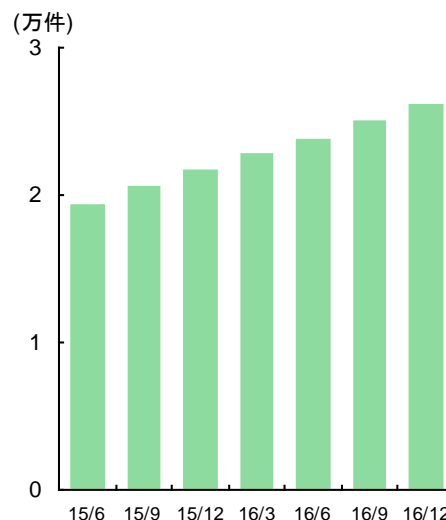


## 国内法人向け貸出金スプレッド (SMBC単体)\*1, 3

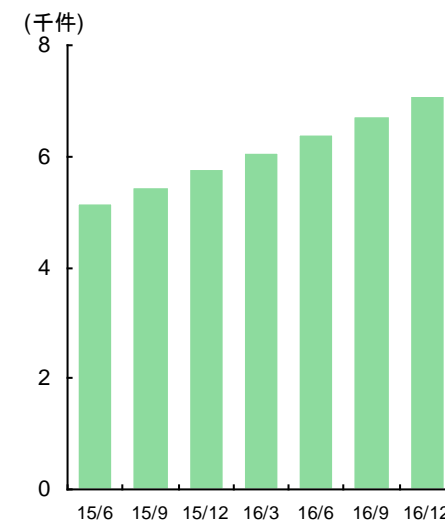


## 銀証連携 (SMBCから日興への法人のお客さまの紹介・仲介)

### 運用業務 (累積件数)



### 投資銀行業務 (累積件数)



## リーグテーブル (16年4月-12月)\*4

	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額)*5, 6	2位	18.6%
円債総合 (主幹事、引受金額)*5, 7	3位	16.8%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数)*5, 8	2位	4.1%
IPO (主幹事、案件数)*9	3位	16.4%

\*1 内部管理ベース。政府等向けを除く。14年度より管理区分を変更。13年度実績は、見直し後の管理区分に基づき算出

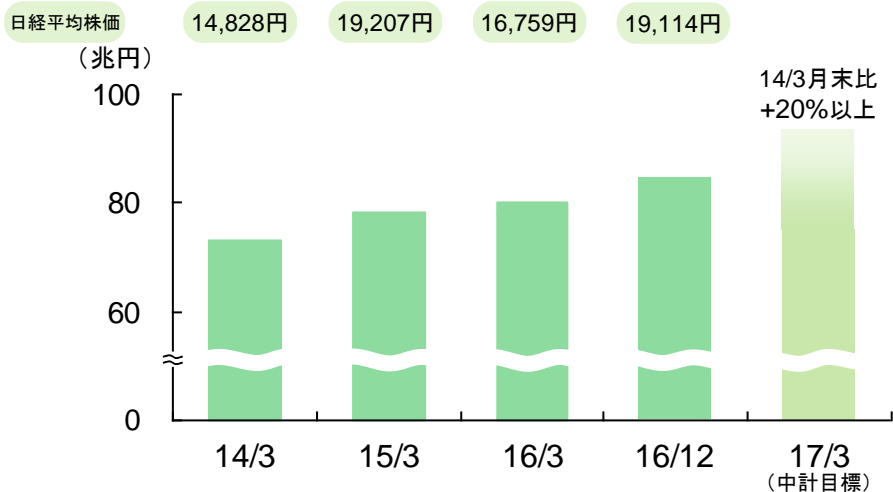
\*2 四半期平残 \*3 月次、ストックベース \*4 株式関連、円債総合はSMBC日興証券、ファイナンシャル・アドバイザーはSMFG

\*5 出所: トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成 \*6 日本企業関連、海外拠点を含む \*7 事業債、財投機関債・地方債 [主幹事方式]、サムライ債 \*8 日本企業関連公表案件、グループ合算 \*9 REITのIPOを除く、海外拠点を含む。出所: トムソンロイター

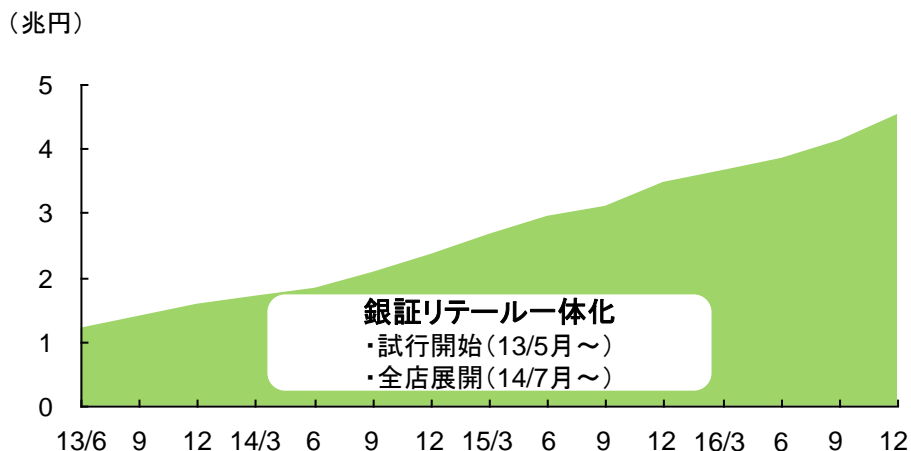
# ■ リテールビジネス／SMBC日興証券の業績

## 銀証連携(個人)

### リテール預り資産残高 ( SMBC+SMBC日興証券<sup>\*1</sup> +SMBC信託銀行プレスティア )



### 銀証連携による預り資産残高<sup>\*1, 2</sup> (SMBC日興証券)

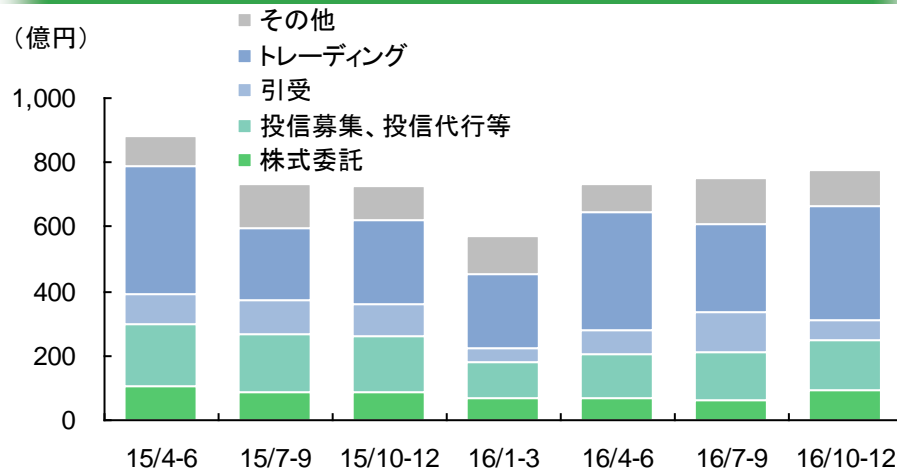


## SMBC日興証券

### 業績(連結)

(億円)	15年度 4-12月	15年度	16年度 4-12月	前年 同期比
純営業収益	2,352	2,928	2,271	▲81
販売費・一般管理費	▲1,842	▲2,415	▲1,811	△31
経常利益 <sup>*3</sup>	540	558	486	▲54
親会社株主に帰属 する当期純利益 <sup>*3, 4</sup>	401	421	263	▲138

### 純営業収益推移



\*1 14/6月末以降のSMBC日興証券の預り資産残高(うち債券)を遡求修正

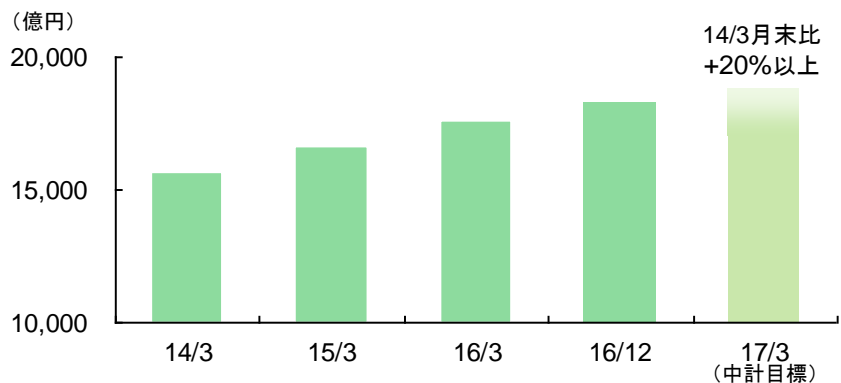
\*2 SMBCからSMBC日興証券への紹介及び、SMBCの金融商品仲介業務を通じた、SMBC日興証券における預り資産残高。

\*3 2011年1月にSMBCフレンド証券のリテール銀証協働事業をSMBC日興証券へ統合した際の移管口座における残高、SMBC日興証券のプライベートバンキング本部における残高を含む \*3 SMBC日興証券の海外持分法適用関連会社(SMFGの連結子会社)の利益等を含む \*5

\*4 バークレイズとの提携事業再編清算金112億円を16年度第3四半期に特別損失に計上

# ■ コンシューマーファイナンス

## 無担保カードローン残高 (SMBC+SMBCコンシューマーファイナンス)



## SMBCコンシューマーファイナンス：業績 (連結)

(億円)	15年度 4-12月	15年度	16年度 4-12月	前年 同期比
<b>営業収益</b>	1,835	2,458	1,931	+95
営業費用のうち貸倒費用	▲426	▲520	▲452	▲26
営業費用のうち利息返還費用	-	▲1,220	-	-
<b>経常利益</b>	458	▲612	502	+44
親会社株主に帰属する 当期純利益	426	▲648	461	+36

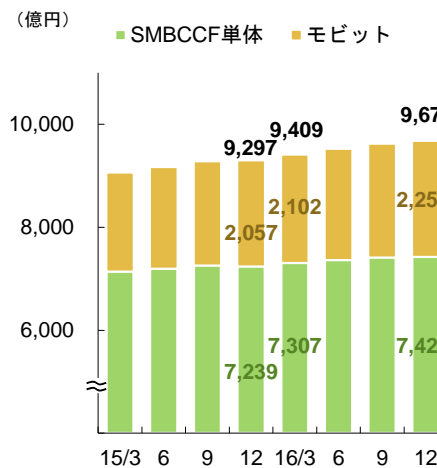
営業貸付金残高	10,140	10,220	10,635
利息返還損失引当金	780	1,888	1,358
<b>保証残高</b>	10,350	10,799	<b>11,781</b>
うち地方銀行等向け	4,479	4,742	<b>5,357</b>

保証事業  
提携先数  
189社  
(16/12月)

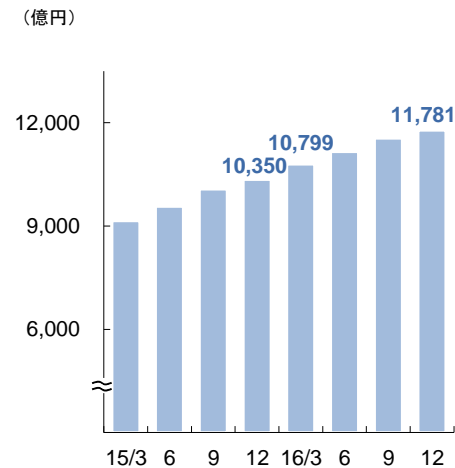
\* 現地通貨建を円換算

## SMBCコンシューマーファイナンス：金融・保証・海外事業

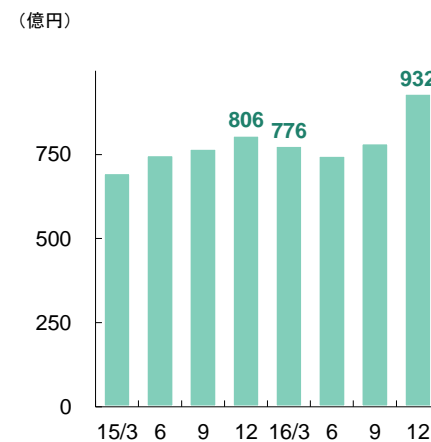
### 営業貸付金残高



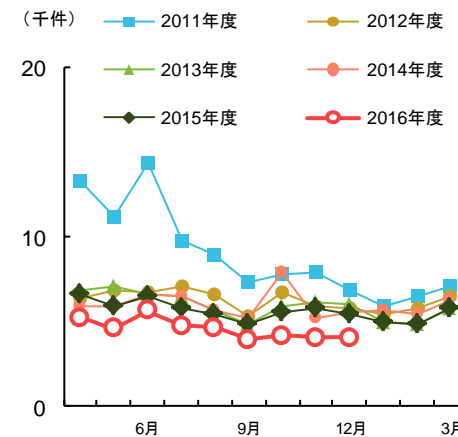
### 保証残高



### 営業貸付金残高 (海外)\*

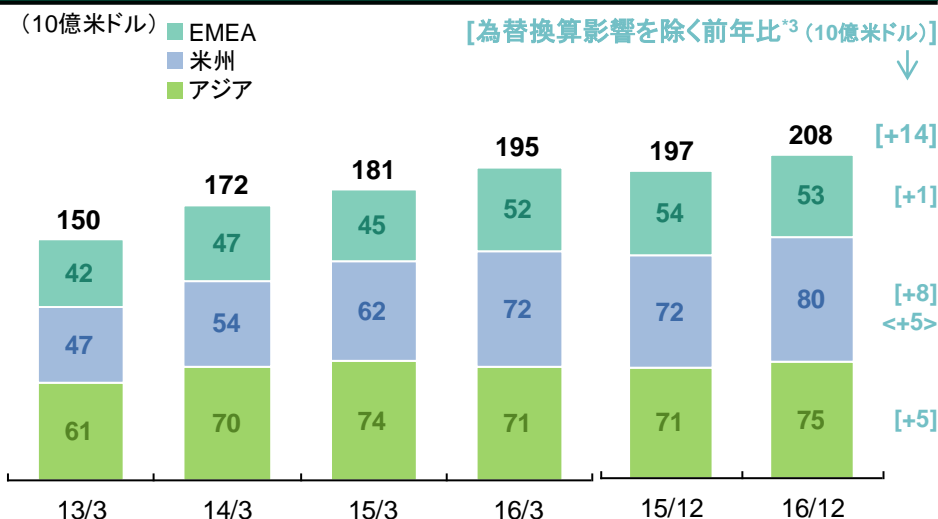


### 利息返還請求件数

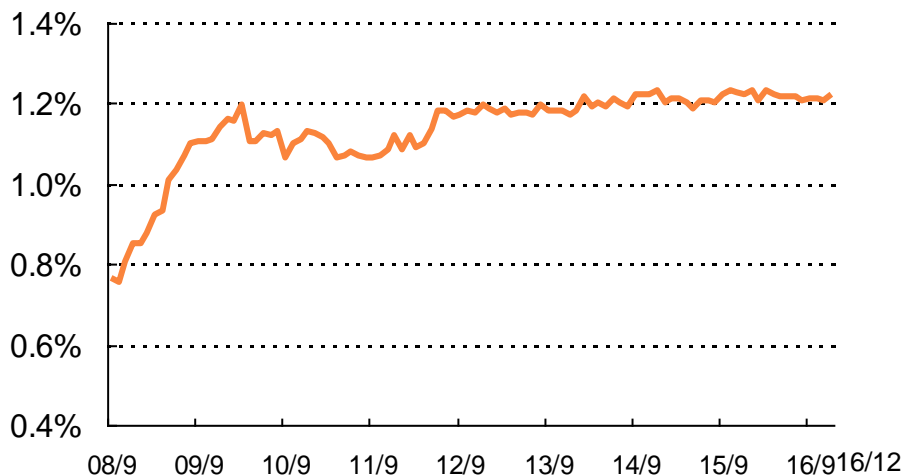


# 海外ビジネス

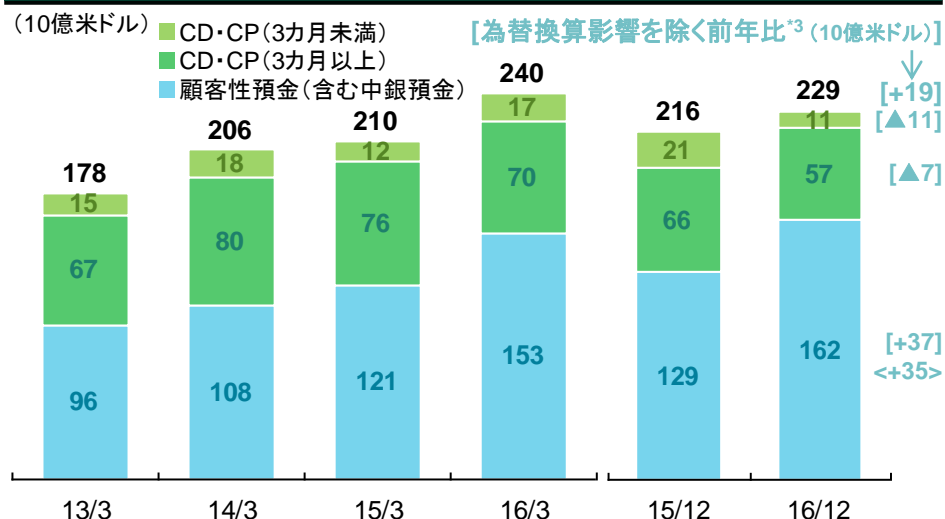
## 海外貸出金残高(含む、貿易手形)<sup>\*1, 2</sup>



## 海外貸出金スプレッド<sup>\*1, 4</sup>



## 海外預金等残高<sup>\*1, 2</sup>



外貨建債券発行残高 <sup>*5</sup> (10億米ドル)	シニア		劣後	
	25.1	32.9	4.7	4.1
	29.3	40.7	4.1	4.0

- 海外機関投資家向けに、米ドル建シニア債 (SMFG: 17/1月, 22.5億米ドル、SMBC: 17/1月, 12.5億米ドル)、ユーロ建シニア債 (SMFG: 17/1月, 5億ユーロ) 発行

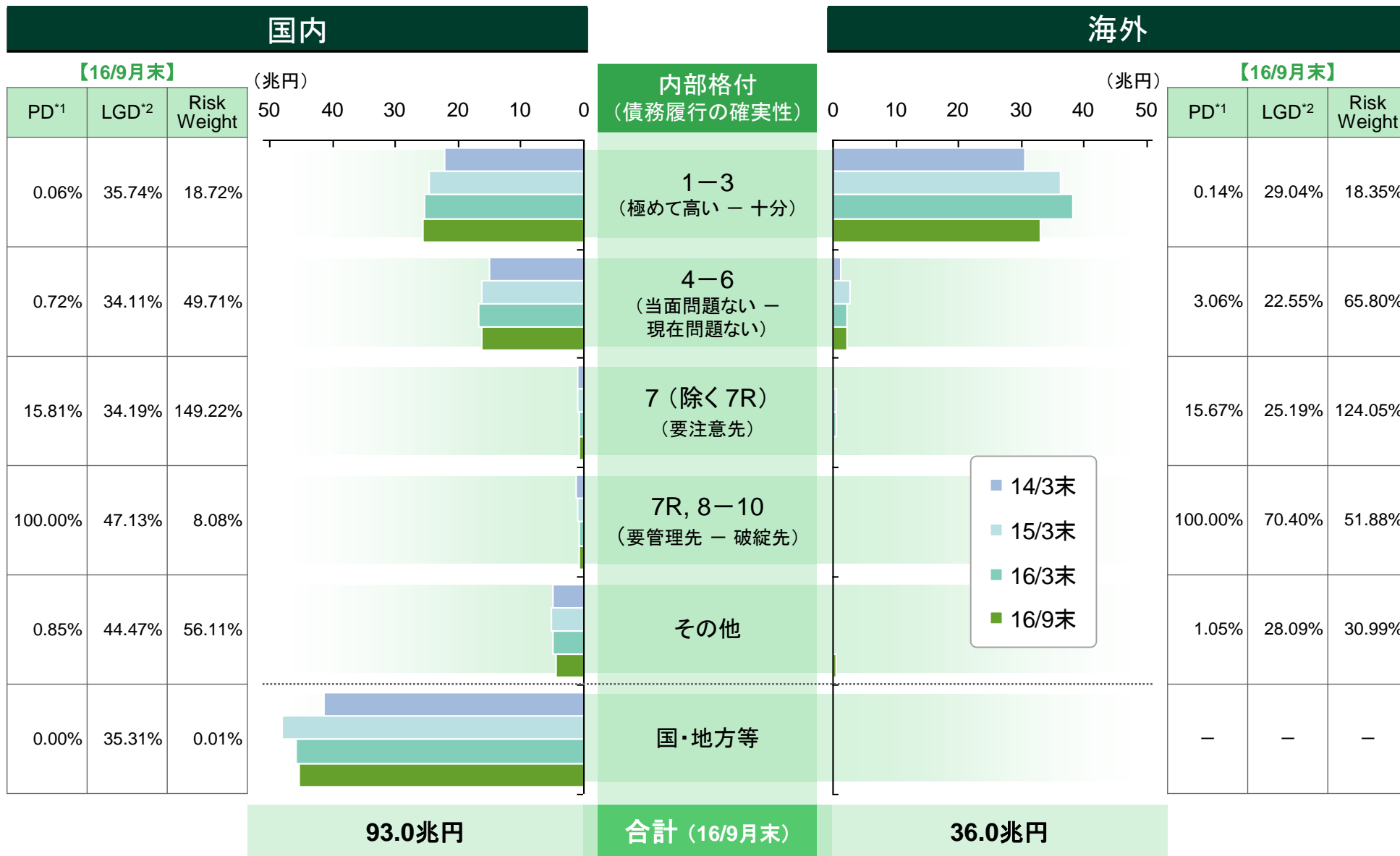
## トピックス: 米国貨車リース会社 (ARL<sup>\*6</sup>) の買収合意

- 強みとするトランスポーターションリース事業の拡充、多様で質の高いポートフォリオの構築
  - SMBC Rail Servicesが全米第6位の貨車リース会社である ARLの全持分を2017年前半に取得予定
  - 総資産: 約34億ドル(約34,000両)<sup>\*7</sup>
  - 取得価格は貨車リース資産の第三者鑑定評価を下回り、買収に伴うSMFGの普通株式等Tier1比率への影響は軽微な見込み

<sup>\*1</sup> 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算。16/12月末より、カナダ支店(16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継)の残高を含む <sup>\*2</sup> 各期末実績レートにて換算  
<sup>\*3</sup> 各現地通貨の対米ドル為替換算影響を除く前年比。<>はカナダ支店化による増加影響を除くベース <sup>\*4</sup> 月次、ストックベース  
<sup>\*5</sup> SMFG及びSMBCの発行分 <sup>\*6</sup> American Railcar Leasing LLC <sup>\*7</sup> 取得時期・契約条件に基づく調整等により、変更の可能性あり



# ■ (参考)事業法人、ソブリン、金融機関等向けエクスポージャー



(SMFG連結)

\*1 Probability of Defaultの略。一年の間に債務者がデフォルトする確率

\*2 Loss Given Defaultの略。債務者がデフォルトした場合に想定される損失率。デフォルト時の債権額に対する回収不能額の割合

## (参考) 資源セクター関連エクスポージャー\*1

		(兆円)	15/3月末	総与信対比	16/3月末	総与信対比	16/11月末	総与信対比
	総合石油・ガス*2		1.8	1.6%	1.5	1.3%	1.5	1.3%
	サービス(掘削、サービス)		0.5	0.4%	0.5	0.4%	0.5	0.4%
	上流(開発(E&P)*3)		1.5	1.3%	1.7	1.4%	1.6	1.3%
	中流(貯蔵・輸送)		1.1	1.0%	1.4	1.2%	1.4	1.1%
	下流(精製販売)		0.7	0.6%	0.7	0.6%	0.8	0.7%
石油・ガス			5.5	5.0%	5.8	5.0%	5.7	4.7%
その他資源(鉱業)			1.2	1.1%	1.1	1.0%	1.0	0.8%
非日系*4(資源セクター関連)			6.8	6.1%	6.9	6.0%	6.7	5.6%
	うち上流		0.1	0.1%	0.2	0.2%	0.2	0.2%
	石油・ガス		1.2	1.1%	1.6	1.4%	1.5	1.2%
	その他資源(鉱業)		0.2	0.2%	0.2	0.2%	0.2	0.2%
	日系(資源セクター関連)		1.4	1.2%	1.8	1.6%	1.7	1.4%
資源セクター関連合計			<b>8.1</b>	<b>7.3%</b>	<b>8.8</b>	<b>7.6%</b>	<b>8.5</b>	<b>7.0%</b>
石油・ガス合計			6.7	6.0%	7.4	6.4%	7.2	6.0%
その他資源(鉱業)合計			1.4	1.3%	1.3	1.1%	1.2	1.0%
非日系*4			38	34.0%	38	32.9%	39	32.7%
日系			73	66.0%	77	67.1%	81	67.3%
SMFG連結総与信			<b>111</b>	<b>100.0%</b>	<b>115</b>	<b>100.0%</b>	<b>120</b>	<b>100.0%</b>

- 石油・ガスに石油化学、日系のその他資源に総合商社を含まない
- 非日系(資源セクター関連)：コーポレートファイナンス 約70%、プロジェクトファイナンス 約30%
- 日系(資源セクター関連)：コーポレートファイナンス100%。不良債権なし
- 資源価格変動の影響を受けないプロジェクトファイナンスを除いた16/11月末の資源セクター関連合計は7.3兆円、同EADは6.5兆円

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。